

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。

地区中学校総合体育大会

18日から地区中総体です。大会に出場する各部は、大会をめざした練習と調整を進めています。準備をしっかりと行い、当日を迎えてほしいと願っています。中総体は「3年生の大会」と言われることがあります。中学校生活で最後の大きな大会であることが多いからではないかと思っています。

壮行式では、各部から力強い決意表明もありました。積み重ねてきたことをしっかり発揮できる大会にしてほしいと思います。

また、各競技とも感染症対策をとっての開催となります。観覧人数や場所、応援の仕方についての制限もあります。各部からのお知らせを確認していただき、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

朝読書での読み聞かせ

ボランティアの方をお願いして、6月1日から3日にかけて、各学級の朝読書の時間に、読み聞かせを行いました。

当日は読み聞かせ、本の紹介、ご自身の経験や体験に基づいたお話、自作の詩の紹介など、方法も内容も色々な形がありました。朝の短い時間でしたが、直接お話をお聞きできたことで、読書に親しむきっかけになったと思います。



教育実習を終えて



5月23日から6月10日までの間、教育実習がありました。保健体育の教科指導を中心に、3週間の実習を終えた、高橋拓暉先生から、実習を終えての感想と生徒のみなさんへのメッセージを紹介します。(裏面)

胆沢中学校の皆さん、大変お世話になりました。

この3週間で授業や部活動など様々な場面で皆さんと関わり、たくさんのことを学ぶことが出来ました。つらいことがあっても明るく元気な皆さんを見ると自然と自分の気持ちも明るくなりました。

これからも「自分の未来を拓く」胆沢中生として頑張ってください。

私もこの貴重な経験を活かしてさらに成長できるように頑張ります。

ありがとうございました。

学校評議員会から

9日(木)に学校評議員会を開催しました。校内の様子を参観していただくと共に、今年度の本校の取組計画やこれまでの状況について、ご意見を頂きました。

- ・積極的に授業に参加している様子がよかった。
- ・ICT活用の様子は新しい時代を感じた。
- ・換気のため開放しており音が気になった。
- ・感染症対策の子どもへの影響が懸念される。
- ・道具が準備できていない生徒がいた。
- ・自分の学校というプライドをもたせていきたい。
- ・統合した学校として、いい形で進んでいる。

また、今年度末の立ち上げをめざしている学校運営協議会制度(コミュニティスクール)についてもお考えをお聞きしました。

皆様からのご意見がありましたら、中学校までお寄せくださるようお願いいたします。

進路を考える その3

今回は、進学先を選ぶにあたり重視することについてです。学力のことが上位にある点は、中学生の正直な気持ちだと思います。

調査5 進学先を選ぶときに重視すること

<多い理由>

- ・自分の学力にあっていること 91.6%
- ・自分の個性を伸ばすことができること 79.2%
- ・自分のやりたい勉強ができること 76.9%
- ・進学に有利なこと 75.4%

<少ない理由>

- ・友人と同じ学校だから 33.5%
- ・気に入った学校の制服だから 37.6%
- ・保護者や先生がすすめる学校だから 41.1%

ここでの学力は数値化できる得点のことだと思います。今、学校では、「何を理解しているか、何ができるか」「理解していること・できることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」という観点で学力をとらえ、授業を進めています。一人ひとりの良い点や可能性、進捗状況をはかりながら個性を伸ばす学習です。難しさもありますが、社会から求められている資質になっているものです。学力=得点=知識量とだけ捉えずに判断していきたいところです。